

## 22 海人科

全体計画

### 1. ねらい

- (1) 糸満市教育課程特例校「海人（うみんちゅ）科」における海洋教育の取り組みの充実を図る。
- (2) 「海に親しみ、海を知り、海を守り、海を利用する」学習の推進を図り、海洋への関心を高める。
- (3) 「海」という視点を通じて、体験活動やそれらを組み合わせた探究活動を図り、知識・技能、思考力・判断力・表現力を高める。
- (4) 教科横断的な視点に立ち、現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成する。
- (5) 生徒が自己の将来や生き方を考え、主体的に進路選択できるよう、キャリア教育の視点からも学習の充実を図る。

### 2. 方針

- (1) 各学年 15 時間の設定とする。（総合的な学習の時間から 10 時間、学級活動から 5 時間）  
※実施は、時間割上の総合的な学習の時間の中で行う。
- (2) 各学年海人科のテーマの下展開する。

1 学年	2 学年	3 学年
「環境と海洋教育」	「地域と海洋教育」	「生きる」と海洋教育」

- (3) 体験的な活動だけではなく、「探究的な学習」となるよう工夫する。
- (4) 各教科年間指導計画において、海洋教育との関連する内容がある場合はそれを位置づける。
- (5) SDGs や NIE の視点を取り入れた展開を図る工夫をする。
- (6) 全職員の共通理解を図り、十分な協力体制を整える。

### 3. 年間計画

**\*海人科 15 時間以上（原則：総合から 10 + 特活から 5）**

学年	月	主な活動内容	時数	計	関連教科
1	4	○オリエンテーション・アンケート	1	15	特活
	5	○海洋教育講話「海ゴミ問題について」 沖縄水産高等学校	2		理科 社会
	6	○マリン体験・ビーチクリーン ※美々ビーチ(終日)	6		理科 社会
	7	○ポスター、スライドの作成、発表の準備	4		社会 特活
		○学級・学年発表会、アンケート等	2		特活
2	4	全体オリエンテーション、アンケート	2	15	特活
	5	課題設定、活動計画、班編成	2		特活
		講話「ジョン万次郎と糸満」	2		道徳
		海と観光、産業について調べ学習①	2		社会 理科
	6	海と観光、産業について調べ学習②	2		社会 理科
		発表に向けての準備（ポスター・リーフレット等）	1		
		講話「ハーレーについて」	2		
		発表、まとめ	2		

学年	月	主な活動内容	時数	累計	関連教科
3	4	○オリエンテーション <b>※事前アンケート</b>	1	1	特活
		○防災キャンプ・グループ別話し合い	1	2	特活
	5	○海洋教育講話Ⅰ「生きる」 自然災害に備えて防災・減災の意義を高める講話	総合 1 h 特活 1 h	4	特活 保健
		防災キャンプ <b>※美々ビーチ、ふるさと公園（午前中）</b> ①防災調理（湯せん・炊き出し訓練）：（食） ②火おこし&キャンプ体験（廃材等を使用+魚料理）：（食） ③水作り体験（海水をろ過し、飲み水に）：（食） ④シェルター作り（トイレ・寝室等）&ロープワーク：（住） ⑤サバニを使った防災トレーニング （転覆からのセルフレスキュー等）：（医） ⑥救急救命・救助訓練等：（医）	総合 4 h 特活 1 h 体育 1 h	9	家庭科 技術 体育 特活
		○防災キャンプや講話を通して学んだことをまとめる （個人）① ○今後取り組みたい活動を考える（個人） ・クロームブックのドキュメントを使用し、防災キャンプ で学んだことをまとめる。 <b>※例を参考に自由に作成する。</b> スライド5枚程度	1	10	技術 国語 理科 特活
		○防災キャンプや講話を通して学んだことをまとめる （個人）② ○個人で考えた今後の取り組みについて具体的な実施内 容、実施方法を考える。 ・クロームブックの活用	2	12	
		○学級発表会（4～5名グループ） <b>※事後アンケート</b>	2	14	